

新見市議会議会モニター設置要綱

令和 7 年 8 月 1 日

議会告示第 1 号

（目的と設置）

第 1 条 新見市議会（以下「市議会」という。）の議会・議員活動について、広く市民から意見を聴取し、議会運営等に反映させるとともに、議会広報に関する意見、感想を求め、その内容の充実を図るため、新見市議会基本条例（平成 23 年新見市条例第 1 号）第 4 条第 2 項の規定に基づき、新見市議会議会モニター（以下「モニター」という。）を置く。

（職務）

第 2 条 モニターの職務は、次のとおりとする。

- （１） 本会議及び委員会を傍聴し、議会運営に関する意見を述べ、又は提案を行うこと。
- （２） 市議会だより、市議会ホームページ等に関する意見を述べ、又は提案を行うこと。
- （３） 市議会が依頼したアンケート、調査等に回答すること。
- （４） モニター会議（第 7 条に規定するモニター会議をいう。）に出席し、議会運営に関する意見交換を行うこと。
- （５） その他議長が必要と認めること。

（定数及び任期）

第 3 条 モニターの定数は、10 人以内とし、その任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

（資格）

第 4 条 モニターは、市内に住所を有する満 18 歳以上の者で、次に掲げる要件を全て満たすものとする。

- （１） 国又は地方公共団体の議会の議員でないこと。
- （２） 現に常勤の公務員でないこと。
- （３） 市議会の仕組み及び運営に関心があること。
- （４） 市政及び地域社会の発展に関心があること。

（募集方法）

第 5 条 モニターの募集方法は、公募とする。ただし、議長は、適当と認めた団体等に対し、適任者の推薦を依頼することができる。

（委嘱）

第 6 条 モニターは、応募者及び被推薦者のうちから、議長が委嘱する。

2 議長は、前項の規定によるモニターの委嘱にあたっては、年齢、性別、居住地等に著しい偏りが生じないように配慮するものとする。

（会議）

第7条 議長は、モニターと連絡調整及び意見交換を行うため、必要に応じてモニター会議を開催するものとする。

(謝礼)

第8条 モニターに対する謝礼は、議長が別に定める。

(庶務)

第9条 モニターに関する庶務は、議会運営委員会において処理する。

(その他)

第10条 この告示に定めるもののほか、必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。